

中学生におすすめしたい本20冊 第41号

鶴ヶ島市立図書館

発行 令和元年 12月

	書名	著(編)者名	出版社/分類
1	回転寿司になれる魚図鑑 お寿司屋さんでイバれる!	松浦啓一/監修 水野ぶりん/画 主婦の友社/編	主婦の友社/487.5カ
		回転寿司に「される」のではなく「なれる」魚図鑑。 いつも食べているお寿司の秘密、寿司屋で使えるちょっとした用語辞典も載っています。 お話のネタにしてみてもいいですか？	
2	義足と歩む ルワンダに生きる日本人義肢装具士	松島恵利子/著	汐文社/302マ
		ルワンダには、かつての内戦などで手や足を失ってしまった人たちが大勢います。 そんな人たちの助けになりたいと、日本で義肢装具士の修行をして、ルワンダに渡った女性のドキュメンタリーです。	
3	お絵かき禁止の国	長谷川まりる/著	講談社/ハセ
		普通ってなんだろう？ 人が人を好きになるのに、理由なんてないよね？ どこにでもいる普通の女の子、ハルは中学3年生。そんなハルが恋した相手は同級生の女の子でした。 卒業までの1年間、誰にも言えない恋と葛藤を描いた物語。	
4	さよなら、田中さん	鈴木るりか/著	小学館/スズ
		小学6年生の田中花実はお母さんと二人暮らし。 ピンボナーな母子家庭ですが、底抜けに明るいお母さんと、毎日大笑い、大食らいで生きています。とにかく面白く、思わず笑ってしまう田中親子の会話に、貧しくも楽しく過ごすたくましい二人に勇気と元気をもらえる1冊です。	
5	リスタート	ゴードン・コーマン/著 千葉茂樹/訳	あすなる書房/93コマ
		13歳のチェースは窓から落ちたショックで記憶喪失になってしまう。 スポーツ万能だった運動神経はそのままに、他の全てを忘れた彼は、周りの皆と接触していくうちに自分がとんでもない悪ガキであったことを知る。 そのことへの後悔と新たな自分が切り拓いた世界との間で彼の心はゆれうごく。	

	わたしの町は戦場になった シリア内戦下を生き延びた少女の四年間	ミリアム・ラウィック／著 フィリップ・ロブジョワ／著 大林薫／訳 (C)Francois Thomas／写真 中村聡／装幀	東京創元社／228.2 ラ
6		政府軍と反体制のあいだの内戦の地アレッポ。そこに住む少女ミリアムの日記。21世紀版アンネの日記である。爆撃が頻発に起こり死と隣り合わせの生活の中でも、ちょっとした楽しみごとがあることにほっとする。戦争の中で生きていくということはどういうことか、改めて考えさせられる本である。	
	十四歳日和	水野瑠見／著	講談社／ミズ
7		目立つグループに入れたけれど、自分の居場所ではないと気づいている葉子。幼なじみの恋に動揺する、たける。軽い気持ちで応募したオーディションの一次審査に通った律。どれだけ努力しても成績はいつも2位の大地。どこかの町に暮らしていそうな等身大の十四歳の少年少女たちの揺れる心が、四季を通して丁寧に描かれています。	
	10代のための疲れた心がラクになる本	長沼睦雄／著	誠文堂新光社／146.8ナ
8		恋愛、友達関係、家族、勉強。特にこれと言って大きな悩みは無いけれど、心が「疲れたな…」と思うときはありませんか？ 自分を変えるにはどうしたらいいか、ちょっと気楽に生きるために必要なことは何かなど、著者のメッセージとともに優しく書かれています。チャレンジ編も収録されているので、ぜひ試してみてくださいね。	
	徳治郎とボク	花形みつる／著	理論社／ハナ
9		浦賀に住むボクのおじいちゃんは耳が遠くて怒りん坊の頑固者。でも、そんなおじいちゃんの「ちっせえとき」の昔ばなしは、よくわからないけれどとても楽しい。小学生のボクとの、心あたったかい思い出がつまった静かな日常の物語。読んだらきっと誰かに会いたくなること間違いなし。	
	サッシーは大まじめ	マギー・ギブソン／著 松田綾花／訳	小鳥遊書房／93 ギブ
10		13歳の少女サッシーの夢は、シンガーソングライターになってエコなメッセージを世界中の人に届けること。環境破壊をする大人を許さず、今日も大型スーパーに抗議文を送っている。そんな中、父が選挙に出ると宣言。投票日まで「普通のいい子」でいれば、歌手になるためのデモテープを作ってくれると言うのだが果たして…？	

11	<p>ぼくにだけ見えるジェシカ</p> 	<p>アンドリュー・ノリス／作 橋本恵／訳</p>	<p>徳間書店／93 ノリ</p>
12	<p>天を掃け</p> 	<p>黒川裕子／著 中村ユミ／絵</p>	<p>講談社／クロ</p>
13	<p>野生のロボット</p> 	<p>ピーター・ブラウン／作・絵前 沢明枝／訳</p>	<p>福音館書店／93 ブラ</p>
14	<p>むこう岸</p> 	<p>安田夏菜／著</p>	<p>講談社／ヤス</p>
15	<p>月の光を飲んだ少女</p> 	<p>ケリー・バーンヒル／著 佐藤見果夢／訳</p>	<p>評論社／93 パン</p>

16	ウナノハテノガタ	大森兄弟／著	中央公論新社／オオ
		『人が死ぬ』事実を神官とその息子しか知らない海辺の村。 皆にウソをつきつつ、なんとか平和を保ってきた彼らだが、山の村からやってきた少女が村の皆に「死」と「戦い」を教えたことにより、全てが変わって行ってしまう…。	
17	放課後の文章教室	小手鞠るい／著	偕成社／816 コ
		「どうすればツイッターで大勢の人に読んでもらえるような文章が書けますか?」「読書感想文にはあらずじがあつたほうがいい?」「メールを書くときに気をつけることは?」小説家・小手鞠るいが、若い人達の質問に全力で答えています。アメリカ在住の著者の、真剣に「言葉」と向き合う姿勢と厳しさに、教えられる事の多い一冊です。	
18	月白青船山	朽木祥／作	岩波書店／クツ
		海外に単身赴任中の父親が病気になってしまい、母親が一人だけ看病に行くことになり、兵吾と主税の兄弟は鎌倉の大叔父の屋敷に預けられることになった。 鎌倉では地元の少女静音と仲良くなり、三人は森で遊ぶうちに、おかしな所へ迷い込む。 何百年も昔の様な格好をした人々に、止まった時の流れを元に戻して欲しいと頼まれた三人は、自分達の一族に関わる壮大な歴史の謎を追いかけることになる…。	
19	ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年	リ・ソングジュ／著 スーザン・マクレランド／著野 沢佳織／訳	徳間書店／93 リ
		11歳のころ、ソングジュはすべてを失った。軍の指揮官になる夢、学校の教育、家、そして両親までも…。ひどい飢饉の中、同じく親のいない6人の仲間と力を合わせ、路上でたくましく生きぬいていく。仲間との間には、しだいに強い絆が生まれるが…? 16歳のときに脱北した著者による、北朝鮮での過酷な少年時代の記録です。	
20	答えは本の中に隠れている	岩波ジュニア新書編集部／編	岩波書店／019 コ
		今、何か悩んでいることはありますか? この本では10代の悩みに沿って、12人の様々な職業の人がオススメの本を紹介しています。人には相談しにくいことや、将来についての不安などの本もあります。 12の観点から書かれているので、もしかしたら悩みを解決する糸口になる本が見つかるかもしれません。	